

第27回海陽ミッドウインターレガッタ

開催日	第1シリーズ	2021年12月11日(土)
	第2シリーズ	2022年1月9日(日)
	第3シリーズ	2022年2月27日(日)
共同主催	(公財) 愛知県都市整備協会、愛知県ヨット連盟	
開催地	豊田自動織機 海陽ヨットハーバー	



帆走指示書

1. 規則

本レガッタには、「セーリング競技規則 2021-2024 (以下、規則という)により定義された"規則"を適用する。

2. 帆走指示書の変更

帆走指示書(以下、指示という)の変更は、当日の9:00までに掲示する。

3. 選手とのコミュニケーション

競技者への通告は、西棟東側に設置された公式掲示板に掲示される。

4. 行動規範

「DP」競技者および支援者は、レース委員会または施設管理者からの合理的な要求に応じなければならない。

5. 陸上で発せられる信号

5.1 陸上で発せられる信号は、西棟南側の信号柱に掲揚する。

5.2 陸上で回答旗が掲揚された場合、レース信号『回答旗』中の「1分」を「30分以降」に置き換える。

6. レース日程

6.1 各日のスケジュールは以下のとおりとする。

08:00-08:40	大会受付・登録
09:00	ブリーフィング
09:50	第1レース予告信号、引き続きレースを実施し、各日3レースを計画している。
TBA (予定)	成績公表

6.2 1つのレースまたは一連のレースが間もなく始まることを艇に注意を喚起するために、予告信号を発する少なくとも5分以前に、音響1声とともに「オレンジ旗」を掲揚する。これはレース信号「オレンジ旗」を変更している。

7. クラス旗

スループ	海陽ヨットハーバー旗
シングルハンド、OP	『緑色地に赤色のレーザークラスの記章』のある、レーザー・ラジアル旗

8. レース・エリア

レース・エリアは豊田自動織機海陽ヨットハーバー沖合とする。

9. コース

通過するマークの順序、それぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースは以下のとおりとする。

➤ 470

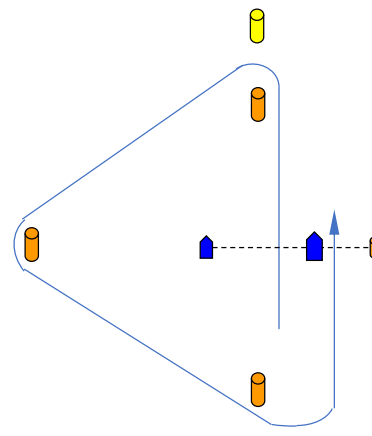
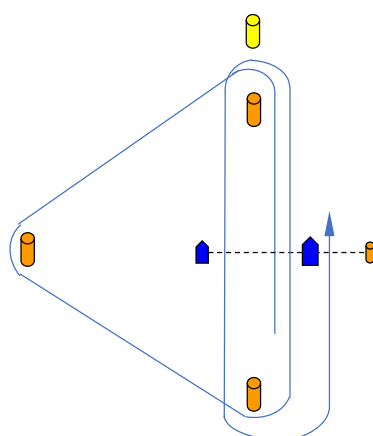
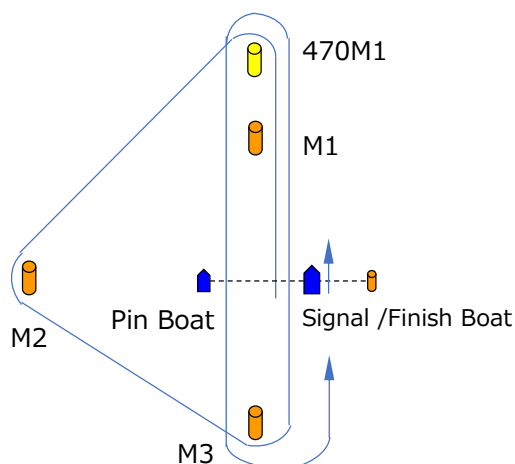
Start→470M1→M2→M3
→470M1→M3→Finish

➤ 470を除くスループ、シングルハンド

Start→M1→M2→M3
→M1→M3→Finish

➤ オプティミスト

Start→M1→M2→M3→Finish



10. マーク

- 10.1 M1, M2, M3は、黒色数字入りのオレンジ色円筒形ブイ、470M1は、黒色数字入りの黄色円筒形ブイとする。。
- 10.2 スタート・マークは、スターボードの端にあるレース委員会信号艇と、ポートの端にあるレース委員会艇とする。
- 10.3 フィニッシュ・マークは、ポートの端にあるレース委員会信号艇と、スターボードの端にあるオレンジ色の円筒形ブイとする。

11. スタート

- 11.1 スタート・ラインは、スタート・マーク上のオレンジ旗を掲揚しているポールの間とする。
- 11.2 「DP」予告信号が発せられていない艇は、ラインの概ね100m以内のスタート・エリアを回避しなければならない。
- 11.3 スタート信号後4分より後にスタートする艇は、審問なしに『スタートしなかった(DNS)』と記録される。
これは規則A5を変更している。

12. フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、フィニッシュ・マーク上の青色旗を掲揚しているポールと近くのマークの間とする。

13. タイム・リミットとレースのターゲット・タイム

- 13.1 マーク1のタイム・リミット、レース・タイム・リミット、フィニッシュ・ウインドウ、およびターゲット・タイムを下表に示す。

マーク1の タイム・リミット	レース タイム・リミット	フィニッシュ ウインドウ	ターゲット・タイム
15分	70分	10分	40分

- 13.2 マーク1のタイム・リミット内に1艇もマーク1を通過しなかった場合、レースは中止される。
- 13.3 フィニッシュ・ウインドウは、最初の艇がコースを帆走してフィニッシュした後、艇がフィニッシュするまでの時間である。
フィニッシュ・ウインドウ内にフィニッシュできず、かつ、その後リタイアせず、ペナルティーを課されず、または救済を与えられなかった艇は、審問無しに『タイム・リミット超過(TLE)』と記録される。
TLEとなった艇は、フィニッシュ・ウインドウ内でフィニッシュした最後の艇が獲得した得点よりも、フィニッシュ順位に対し2多い得点が記録される。これは規則35、A5.1、A5.2、およびA10を変更している。
- 13.4 ターゲット・タイムどおりとならなくても、救済の根拠とはならない。これは規則62.1(a)を変更している。

14. ペナルティー方式

規則44.1の2回転ペナルティを1回転ペナルティと変更して適用する

15. 審問要求

- 15.1 抗議締切時刻はその日の最終レースに最終艇がフィニッシュした後、またはレース委員会が、本日これ以上レースを行わないという信号を発した後、どちらか遅い方から60分とする。
- 15.2 審問要求の様式は、レガッタ・オフィスにて入手できる。

16. 得点

- 16.1 大会が成立するには、1レースを完了させることが必要である。
- 16.2 3レース以下しか完了しなかった場合、艇のシリーズの得点はレース得点の合計とする。

17. 安全規定

- 17.1 競技者は海上では常時有効な浮力を持つライフジャケットを着用していなければならない。
また、ドライスーツあるいはウエットスーツを必ず着用しなければならない。
- 17.2 出艇しようとする競技者は大会本部前に用意される出艇申告書に署名しなければならない。
- 17.3 帰着した競技者は、抗議締切時間内に大会本部前に用意される帰着申告書に署名しなければならない。
- 17.4 リタイアした艇は、できるだけ速やかにレース委員会に伝えなければならない。
- 17.5 競技者は自分自身の技量を考慮して自力で帰港できないと判断した場合、出艇してはならない。
- 17.6 このレースの救助体制は人命第一としている。主催者が危険と判断した場合、強制救助する場合がある。

18. 表彰

シリーズごとに優勝から3位までを表彰する。

19. リスク・ステートメント

規則3には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇のみにある。』とある。
大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングに内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることにある。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大である。
セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。
主催団体は、本レガッタの前後、期間中に生じた物理的な損害、または身体障害もしくは死亡によるいかなる責任を負わない。